

夢を求めて自ら磨き
思いやりの心でふれあい
仲間とたくましく仲ひる

第11号
平成30年7月20日発行
発行 / 南会津中PTA
編集 / PTA教養委員会



PTA新役員より

ネット時代



PTA会長
星 哲也

早いもので私が会長に選ばれて三ヶ月が経とうとしています。不慣れの中、各種会議等出席してはいますが、最近の話題は「ネット」。スマホ、携帯電話、ゲーム…。知らない間に危険に巻き込まれてしまう事例があり問題となっています。SNSやブログ上での書き込みをめぐるネットいじめや架空請求、そしてワンクリック詐欺等のネットトラブル。また、ゲーム依存により生活リズムが昼夜逆転してし



育成会長
橘 一明

育成会会則では、常設部活動のほか各種コンクールや社会教育分野での活動も援助対象としていることを再認識したところ

です。サッカーワールドカップ・ロシア大会で、日本代表はコロンビアに勝利、セネガルには引き分けと善戦しましたが、生徒達は期末テスト完全制覇に向け机にかじりついていたので、深夜のTV中継の親子観戦はできなかったと思います。

まい、不登校の原因になることもあるそうです。最近では「世界保健機構(WHO)でも「ゲーム障害」として疾患に認定されるほど問題視されています。インターネットによって確かに便利になりましたが、子ども達のよりよい成長のために、「持たせる責任は親が！持つ自覚は子どもが！」を合い言葉に、PTAでも理解と情報共有ができるよう、御協力をお願い致します。



さて、先に行われた中体連ではどの競技も熱戦が繰り広げられました。三年生はこれまでの集大成として、二年生は次のステージに向けて、入学したての一年生も熱闘に加わり、皆ベストを尽くし精一杯頑張りました。私が観戦できたのは、バレーボール競技のみでしたが、速報や子ども達からの報告を心待ちにし、勝利を自信に、悔しさをバネに自身を振り返るよう声かけをしました。

私達は、子ども達が掲げた個々の目標に立ち向かう姿を応援し続けることを約束する！どうせ行くなら険しい道を行け！とエールを送ります。

同級生の活躍に思う

校長 小林 稔

六月十七日の福島民報に聞き覚えのある名前が載っていました。海上自衛隊の「海将」として活躍しているとのインタビュー記事でした。彼が防衛大学校に進学したことは知っていました。彼が同級生の活躍を目にするとうれしく感じました。記事には、「北方四島や尖閣諸島など周辺海域の緊張が続いている中で、『常在現場』の感覚を持ち、現場に出て、現物を見て、現実を確認する『三現主義』を徹底している。」「献身的な気持ちと思いやりを忘れず、伝統を重んじ、正義を貫き、人を育てることに力を尽くしてきた会津人のDNAを受け継いでいることを誇りに、国防という職務に全力を尽くす。」とありました。

校長として生徒の安全を守るために、常在現場や三現主義などは危機管理を考える上で参考になると思いましたが、学校教育の最前線で会津人のDNAを発揮して、南会津中学校で頑張らねばならないと改めて考えた日になりました。



平成三十年年度 職員紹介

Q1・初恋エピソード
Q2・嫌いな食べ物

① 小林稔校長先生

1 幼稚園時代の担任の小林先生。私が儘を言っても悪戯をしていても笑顔(普すき)で記憶が曖昧(？)食べられないものは食べない。苦手なものはハチマチのうしろに口に残る食感がどうしても！

② 佐藤謙二教頭先生

1 小学校一年生の時、勉強ができて優しい女の子でした。
2 セロリです。スープなどに入っていると直ぐに分かります。

③ 舟木 希先生

1 遠くに住むペンフレカッパ。手紙が待ち遠しかったです。
2 ビーマン、パプリカ。どうしても克服できない味。給食にでたときは嘔まずに飲み込んでます。

④ 小野貴史先生

1 教務主任。数学じいさん。いつだっけ？って感じ。
2 ビーマン、パプリカ。どうしても克服できない味。給食にでたときは嘔まずに飲み込んでます。

⑤ 目黒久美先生

1 幼稚園時代の、一つ上の先輩に手作りのプレゼントを健気にも作って渡しました。
2 何でも大好きです！

⑥ 吉田健一先生

1 一年担任 社会科
2 小学校3・4年担任の但野先生。先生宅でカレーを作っていたのだ。特にありません。

⑦ 星 喜幸先生

1 一年副担任 保健体育科
2 5歳の時、郡山のおじさんにつれられ、遊ばしに行つたところの娘さん。パクチー、あの独特な味がどうしても！

⑧ 池上久美子先生

1 一年副担任 美術科
2 保育所時代の転入生さやえんどう。小学校の給食によく入っていた。たつぷり加熱された繊維だけ残され、繭のような物体。

⑨ 本名 貢先生

1 二年担任 英語科
2 高校の球技大会、フライが上がり、捕ろうとしたら女の子と衝突。その後アタックするもゲームセット！
3 梅干しだけはどうしても友達になれません。

⑩ 室井啓永先生

1 ひまわり一組担任 数学科
2 まだ初恋はしていません。ありません。

⑪ 大川美紀先生

1 二年副担任 国語科
2 推理小説の中のルバが苦手です。あんこはこしあん派。

⑫ 氏家千博先生

1 三年担任 理科
2 うちの奥さん。セロリだけは克服しようとして頑張つてもダメでした。

⑬ 馬場仁子先生

1 ひまわり二組担任 国語科
2 小学校の同級生。現在某中学校の体育教師です。セロリとホヤには、どうしても勝てません。

『感謝と協力の資源回収』

地区委員長 渡部 英男

今年度も四月に第一回資源回収を無事行うことができました。生徒や保護者の皆様、そして先生方、ご協力ありがとうございました。

また、地域の皆様にも、前日から用意していただいたり、声かけしていただいたりと、感謝しております。

資源回収は小学校入学と共に始まり、中学校三年生までの九年間参加することになります。また、親と子どもが協力して行う貴重な活動でもあります。

我が子も三年生となり、今年で最後の活動となると思うと、九年間は長いようであつという間でした。

第二回目の資源回収が秋にも予定されています。三年生はこれが最後の資源回収となります。先輩や小学生にも、大事な活動であることが伝わるような働きを期待しています。保護者の皆様も、ご協力お願い致します。



『感謝』

教養委員長 星 祥子

先日行われましたPTA教育講演会には、お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。これに先立ちまして、PTA会員の皆様にご協力をお願いしましたが、皆さんのご意見をいただくことができました。当日の講演でも、講師の白石先生より貴重なお話を拝聴することができました。子ども達も白石先生のお話から様々なことを学ばせていただき、これからの生活に生かしてくれることと感じました。次回の講演会につきましても意見等、よろしくお願い致します。

『ありがとうございます』

厚生委員長 大竹 礼人

去る六月二十日に、今年度第一回目の奉仕作業が、夕方六時から行われました。一時間という短い時間ではありましたが、たくさんの方の保護者の皆様と、先生方のご協力のもと、校舎の周りの草刈りが円滑に進められました。そして無事、大きな事故もなく終えることができました。きれいな校庭を見るのは、大変気持ちがいいものです。二学期の始業式前にも、第二回目の奉仕作業がありますので、またよろしくお願いします。



⑭ 長谷川寛申先生



三年副担任 社会科
1 中一の時の一つ上の先輩。告白してふられました。
2 好きな物はたくさんありますが、嫌いな物は多分ありません。

⑮ 藤縄理恵子先生



スクールカウンセラー
1 幼稚園の時のとてもやさしかった○○くん。名前は秘密、ではなくて、さすがに忘れませんでした。
2 貝類全般、タコ、イカ、刺身など生臭いものが苦手です。

⑯ 橘 成美先生



初任者研修指導員
1 小学校一年生の時、齋藤孝昭くんにしていただきます。今も仲良しです。
2 ほとんどないです。強いて言えば、肉の脂身かな。食べものも飲み物も大好きです。

⑰ 酒井ゆえさん



用務員
1 保育所の年長さんの頃かな。年下のイケメン君でした。

⑰ 大川浩史先生



技術科
1 どれが初恋かわかりません。
2 タマネギ。先祖の遺言で食べられません。

⑱ シェシカ・ブレイク先生



英語指導助手
1 個人的なことなので(笑)
2 トマト、ナス。

⑲ 五十嵐美恵先生



音楽科
1 ドラマの中の素敵な人
2 かたしい食べ物(備の強度気になつてきた)

『出会いを活かす』

七月七日のPTA教育講演会には、白石モーターズ代表取締役の白石高司さんを講師に迎え、挨拶や返事、掃除を通して人は変われるということをわかりやすく、ご講義いただきました。

肩もみから始まり、〇二秒の返事やお辞儀の仕方、自らの出会いやトイレ掃除体験など、目から鱗で、本当に学ぶことが多い九〇分でした。「頼まれごと」は「ダイズニールランドで働く方の

エピソード」など心に残る言葉がありました。

当日来られなかった方はぜひ、お子さんに聞いてみてください。



『一年生の思い出』
卓球部主将 大竹 真歩

私たち卓球部は、県大会出場を目標にして、一日一日の練習を大切にやり組んできました。目標を達成することはできませんでしたが、一人一人が全力でプレーできたと思います。部長としてみんなをしっかりとまとめられたかは分かりませんが、このメンバーで卓球をできたことは、私にとって一生の思い出となりました。

一、二年生の皆さんは、これから新たな目標に向かってしっかりと頑張ってください。



～部活動を振り返って～



『大切な宝物』

卓球部保護者 大竹礼人

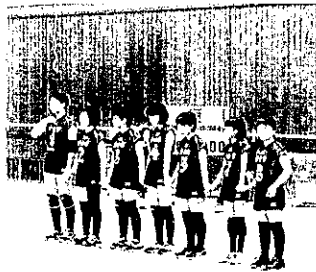
三年間お疲れ様でした。どの大会も素晴らしい試合でしたね。勝てば感動の涙、負ければ悔し涙。応援している私たち保護者も一緒に笑って泣いて心動かされ、その頑張りに元気をもらっていました。

卓球部として共通した目的や目標を持つ仲間や先生に囲まれ切磋琢磨する経験は一生残る大切な宝物となったことでしょう。これからも目標を持ちスキルを高めていってください。最後にこれまで支えてくださいました先生方に深く感謝申し上げます。



『あつという間の三年間』
バレー部主将 渡部和子

入部したての頃、「あと三年間もバレーやるのか。」と言っていた私がある程度ありました。いろいろなことがありました。県大会に行ったこと、悔しかったこと、楽しかったこと、連合チームになったこと。いろいろあったけど、三年二人でバレー部を引っ張り、最後までプレーできたこと、とても良い三年間でした。これからも頑張れ！バレー部！



『娘たちよ、頑張った』

バレー部保護者 渡部征子

たくさんの方々の応援を頂き、バレー部で繋がっていることを感じ、感謝しながら、今の力を一杯出して終えることができました。負けて何をやるか？ここから二人の成長です。そして、一年生の飛躍に大いなる期待をしています。一緒にバレーをしてくれてありがとう！

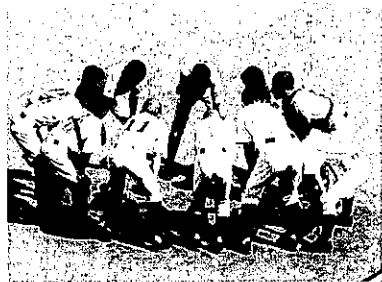
これまで、多くの先生方のご指導を頂きありがとうございます。そして、地域のバレー関係者の方々に感謝いたします。

『僕達が歩いた道のり』

野球部主将 佐藤 仁

四月に本名先生を野球部顧問として迎え、新体制の中、活動がスタートしました。今年は、三年生が三人と、とても少なかったですが、その分、みんなが協力して頑張ってきました。

五月に行われた大会で優勝し、幸先の良いスタートを切れたと思っていました。が、中体連本番では、館岩・荒海合同チームに負けて全会津出場を逃し、とても悔しい思いをしました。でも、全体を振り返ると笑顔が溢れ、自分達なりに頑張れたと思います。



『あと一步』
野球部保護者 馬場善長

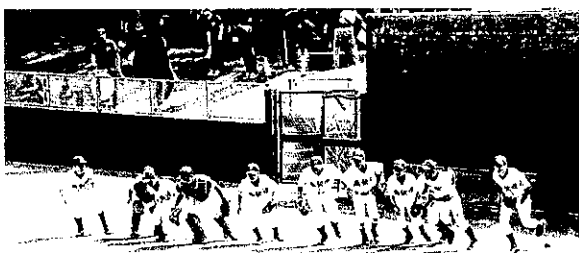
「会津大会いける」多分みんなが思っていたと思う。中体連二日目、南会津中二試合目。しかし、その裏逆転され残念ながらゲームセット。あと一步。

三年生から一年生までレギュラーとして頑張っている姿。部員十一名の少数で頑張っている姿。本当に良いチームです。

あと一步。ミスしてもいい。打たれてもいい。その時、声を出せ！助け合え！全員で。

新チームにも期待します。三年間ありがとうございました。そして、小野先生、本名先生、保護者の方、本当にありがとうございました。

仁、快人、善生ありがとうございました。



「練習の日々」

剣道部主将 阿久津賢大

僕達剣道部は、中体連に向け、大会や練成会に参加し、週二回の夜練も含め、練習を重ねました。そして最後の郡大会、男子団体は三位、女子団体は二位となりました。個人でも平野伊吹君が全会津出場、五十嵐美帆さんが優勝、全会津でもベスト8になり、県大会に出場を決めました。男子は県大会に出場できませんでした。積極的に練習に取り組んでいます。

一、二年生は、新人戦に向けてそれぞれの目標を達成できるような頑張っしてほしいと思います。



「練習の日々」

剣道部保護者 阿久津かなえ

全会津大会、男子団体、残念ながら予選リーグ敗退。女子団体三位、県大会出場を獲得しました。

郡中体連までの二ヶ月間、週二回の夜練、練成会、大会と本当によく頑張ったと思います。「県大会出場」を目標にひたむきに練習に打ち込む三年生の姿に、二年生も感化されたと思います。結果だけでなく、目標に向かってどのよう努力をしたのか、過程が大事だなと子どもたちの活動を通して強く感じました。女子は県大会に向けて練習が続いています。熱い中、頑張っ続けて練習することが必ず結果に結びついてくれると信じています。

歯の健康

「福島県学校歯科保健優秀賞表彰」において、平成二十八年に「優秀賞」、昨年は「奨励賞」、そして今年度二度目の「優秀賞」を受賞することができました。

平成二十九年の「歯と口の健康に関する取り組み」が評価された結果です。

本校は、一人あたりの「う歯」の数の平均がとても低く、日頃から保護者の方のお子さんへの

歯に対する意識が高いことから頂いた賞でもあります。毎年二回の歯科検診の実施と、その後の早期治療の協力、給食後の歯みがきの実施と、保健委員会の活動も含め「優秀賞」を頂くことができました。

連続五年の優秀賞受賞で「最優秀賞」となります。ぜひとも「よい歯の学校」として認められ、虫歯のない強い歯で勉強に運動に頑張れる南会津中生徒であってほしいと思います。



「陸上から学んだこと」

特設陸上部 星 有里奈

三年間の陸上を通して学んだことはたくさんあります。特に仲間の大切さ。陸上練習で記録が伸びなくて辛い時もありましたが、先輩や先生方からの励ましの言葉で頑張り抜くことができました。また、陸上を続けることで体力だけではなく精神面でも成長することができました。陸上を通して学んだ仲間の大切さを忘れずに今後の生活にも生かせるようにしたいです。



「自分の考えを発信」

七月一日(日)、御蔵入交流館で行われた南会津町青少年の主張大会において、佐藤仁くん(三年生)と五十嵐遥さん(二年生)がみごとな主張を披露しました。

仁くんはふくしま駅伝を通して学んだことを、遥さんは本を読むことの素晴らしさを、それぞれの視点から熱く語ってくれました。文化祭での発表もありますので、楽しみにしててください。



「辛いことから逃げない」

特設陸上部 馬場善生

僕は二年間陸上部に所属しました。一年生の時は、辛い種目がやりたくなくて長距離から逃げていました。その結果、野球でもスキーでも良い結果を残すことができませんでした。でも、二年生から長距離に変更したら、野球や駅伝で結果を残すことができました。

そして、今年、初めて陸上で全会津に行くことができました。しかも、目標だった五分をきることもできたので、とても嬉しかったです。これからも、辛いことから逃げないで挑戦していきたいと思っています。



「夢になれるもの」 佐藤 仁くん



「本と私」 五十嵐 遥さん

